

上野浅草フィルハーモニー管弦楽団

1984年に東京都台東区の音楽愛好家によって設立。1988年には台東区の姉妹都市であるウィーン市との文化交流の一環として渡唄し、演奏会を行う。1933年に創立10周年記念演奏会としてベートーヴェンの「第九」を、日本で初演された旧東京音楽学校奏楽堂で、初演当時のスタイルと規模で演奏。2005年に東京文化会館・第20回オーケストラフェスティバルにて、森利子バレエ団と共にチャイコフスキー「白鳥の湖」を上演。2016年第60回記念演奏会では、すみだトリフォニーホールにて、レスピーギ「ローマの祭り」サン・サーンズ交響曲第3番「オルガン付」を演奏。年2回行われる定期演奏会では「語り」を交えたコンサートや、演奏会形式によるオペラ、バレエ団との共演を数多く行うなど、ユニークな企画を演じて、これまでに64回を数えます。

また選曲も芥川也寸志や伊福部昭など邦人の曲を取り上げたり、プーランク、フォーレなどフランス人の作曲家ばかりのプログラムを組んだり、プロのオーケストラでもあまり取り上げないような曲にも積極的に取り組み、数あるアマチュアオーケストラの中でも、その独創性で注目されております。



したやウィンドアンサンブル

1955年、台東区が設けた「台東区青少年吹奏楽団」が前身。創立当時は区の社会教育課直接の運営であったが、1967年、区の運営から団員による自主運営となり、これを機に「下谷ウィンド・アンサンブル」と改称。1994年、家田厚志氏を音楽監督に迎え、その成果として第18回定期演奏会ではベルリオーズの「葬送と勝利の交響曲」を演奏、圧倒的な反響を呼ぶ。1996年、第20回記念定期演奏会を機に、より親しみやすい表記として現在の「したやウィンド・アンサンブル」へ改称。以降、意欲的な企画の演奏会を開催してきている。

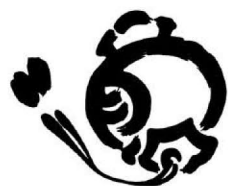
今回の演奏会では、昔から演奏されている名曲をジャンルに関わらず取りあげました。昭和世代には懐かしい、平成世代には耳に新しいプログラムをお届けします。



上野浅草室内管弦楽団

当団は上野浅草フィルハーモニー管弦楽団を前身として1987年に設立された小編成の室内オーケストラです。台東区在住在勤のアマチュア演奏家を中心に小編成の特徴を生かし、一人ひとり綿密で徹底したアンサンブルの訓練を心がけています。月2回、日曜日の夕方に浅草小学校で練習に励み、その成果を発表する場として、年2回、我が国最古の演奏会ホールである旧東京音楽学校奏楽堂で定期演奏会を開催してきました。

今回は保存活用工事が終わり平成24年11月以来となる奏楽堂での演奏会になります。慣れ親しんだ木の温もり・乾いた音の響き・お客様との距離感など久しぶりの再会に団員一同心躍らせています。心待ちにしていたこのホールで演奏できる喜びを客席の皆様と共有できれば幸いです。ぜひお楽しみ下さい。



登録商標

東京 浅草 伝法院通り

大黒家天麩羅

電話 3844-1111・2222 公会堂隣

健康とむきあうひとときを、

もっとゆたかに、快適に

人間ドック 各種健康診断 附属クリニック

台東区総合健康診査・子宮頸がん検診・マンモグラフィ併用乳がん検診受託機関／全国健康保険協会生活習慣病予防健診施設
東京都台東区根岸2-19-19 JR日暮里・鶯谷駅徒歩6分
www.tsk-uguisudani.jp 03-3873-9161



医療法人社団 せいおう会
鶯谷健診センター

すべての健診は男女別専用フロアで

**地元応援団
朝日。**



街の鼓動に敏感です



朝日信用金庫

<http://www.asahi-shinkin.co.jp/>